

圏央道-横浜環状南線の現在の進捗状況などを、沿線の皆様にお知らせする広報紙です。

よこかんみなみ

<http://www.yokokan-minami.com> よこかんみなみ 検索 <発行> 東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工務事務所

6月14日(土)、『エコハイク』を開催します。 ~「自然にやさしい道づくり」の現場を、実際にご覧いただけます~

参加者募集!

● 自然にやさしい「エコロード」

エコロードとは自然環境や動植物に配慮した道づくりのことで、大きく分けて2つの方法があります。ひとつは、道路のり面に木々を植え付けたり、野鳥のために巣箱を橋脚に取り付ける、排水路に水浴び場を作る、など自然に与える影響をできるだけ小さくする方法です。もうひとつは、ホタルのための水路を造ったり、橋の下の土地やパーキングエリアの調整池に水路・砂地・枯木立など自然の環境を整えて、動植物が生きやすい空間を新たに創出する方法です。横浜横須賀道路では、約20年前からさまざまな取り組みを行っています。



開催概要・募集要項

日時：6/14(土) 10:00~15:00
見学内容(予定)

- ・新ひょうたん池(湿原環境の創出)
- ・調整池(自然の復元)
- ・ホタル水路(自然の復元)
- ・釜利谷第二橋(遮音壁・のり面・ピオトープ)

集合場所：参加者の方に、別途ご連絡します。
参加費用：無料 但し、昼食は各自ご持参ください。
応募方法：アンケートはがきに参加希望人数をご記入の上、お申し込みください。
6/6(金)消印有効。
応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
お問合せ：045-352-3771(代表)
受付時間：月~金 / 10:00~17:00
NEXCO東日本 横浜工務事務所 環境技術課 『エコハイク』係

● ハイキング気分自然との触れ合いを楽しめる、釜利谷JCT周辺のエコロードをご案内します。

横浜環状南線や横浜横須賀道路などでのエコロードの取り組みを、皆様にご紹介する現地見学会『エコハイク』を開催します。高速道路建設における自然環境保全の事例を直接ご覧いただくとともに、豊かな自然との触れ合いの場をご提供いたします。この機会に、ぜひご夫婦やご家族連れでご参加ください。本紙アンケートはがきでお申込みいただけます。

よこかんみなみの環境保全に対する取り組み例

事業予定地にあったひょうたん池には、神奈川県絶滅危惧種に指定されている「ヒメウキガヤ」が生育していたため、上流部に代替池となる新ひょうたん池を造成し、「ヒメウキガヤ」の移植を行いました。

新ひょうたん池の造成直後(平成11年3月)の様子
造成から8年後(平成19年10月)の状況▶

現在、移植したヒメウキガヤ(イネ科)は順調に生育中

「エコハイク」へのご応募
お申込みされる方は、下欄にチェックの上、ご希望の参加人数をご記入ください。
□エコハイクに申込み
大人： 名 子ども(小学生以下)： 名
お申込みの際は、必ず氏名・電話番号をご記入ください

アンケート

「よこかんみなみ vol.13」で関心を持たれた記事はありますか?
 大気測定の実施 〇
 のり面の樹林化を検討 〇
 よこかんみなみの現在の取り組み 〇
 圏央道・神奈川東区間の進捗状況 〇
 事業用地の買収率 〇
 相談窓口、移動相談室特になし 〇
 その他()

横浜環状南線についてどのようなことが知りたいですか?
 道路計画、道路構造 〇
 事業の進捗状況 〇
 環境対策 〇
 その他()

横浜環状南線事業へのご意見をお聞かせください。
(このハガキによるご質問にはお答えいたしかねます。ご了承ください。)

ご協力ありがとうございました。
お送りいただいた方には、粗品を進呈いたします。

よこかんみなみに関するご質問・ご相談にお応えしています。

相談窓口
横浜環状南線について、疑問や不安に感じていることをご相談いただける窓口です。パネルや模型の展示も行っています。

【日程】6/12(木)・26(木)
【場所】栄第一水再生センター
【時間】午前10時~午後4時

19年度 来場者のお住まい(88名)

19年度 来場者の相談内容(90件)

その他 26.7%(24件)	ルート・構造 18.9%(17件)	用地・補償 14.4%(13件)	沿道環境 15.6%(14件)
事業反対 1.1%(1件)	早期完成 10.0%(9件)	進捗状況・予定 13.3%(12件)	

よこかんみなみ移動相談室
沿線や周辺地域の皆様のお申し込みに応じて、公民館や学校、職場などにスタッフが直接お伺いして行う「移動型」の相談室です。

お申込みお問合せ
お気軽にお電話ください。

TEL:045-352-3771(代表)
受付時間：月~金 / 10:00~17:00
NEXCO東日本(東日本高速道路株式会社) 横浜工務事務所 工務課
「よこかんみなみ移動相談室」係

<お問合せ / 横浜環状南線に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください>

東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工務事務所 工務課 〒241-0833 横浜市旭区南本宿町21-1 045-352-3771(代表) http://www.e-nexco.co.jp	国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 計画課 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 045-316-3536 http://www.ktr.mit.go.jp/yokohama/
横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 045-671-2778 http://www.city.yokohama.jp/me/douro/hashira/minami.html	鎌倉市 都市整備部 国県道対策担当 〒248-8686 鎌倉市御成町18-10 0467-23-3000(代表) http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/

横浜環状南線では、今後も環境に関するさまざまな取組みを予定しています。

道路建設による環境への影響をできる限り小さくする取組みの一環として、昨年度は「シールド工法」の検討や、栄区庄戸地区の地質調査などを行っています。
今年度も、さらにさまざまな取組みを予定しており、その一部を紹介いたします。

大気の測定を行います。

環境の現況を把握するため、公田インターチェンジ(仮称)付近をはじめ、沿線8カ所で開催の大気測定を実施し、2カ所で「四季調査」を行います。



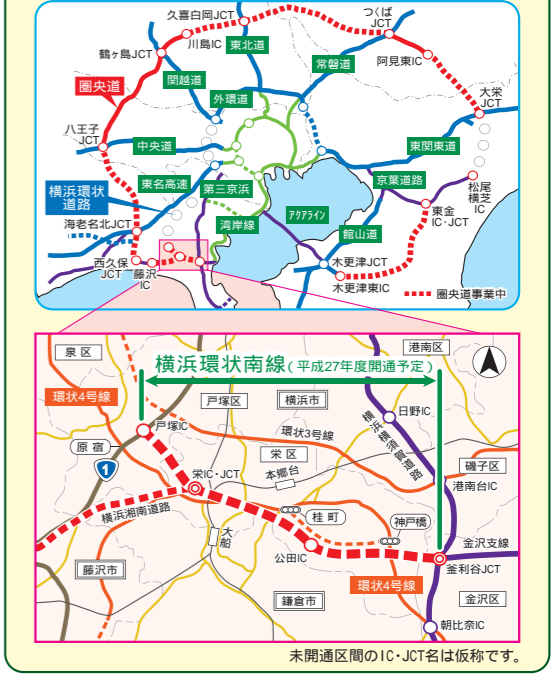
大気調査の概要
期間は平成20年6月1日~平成21年5月31日までの1年間。大気中の窒素酸化物(NOx)濃度、浮遊粒子状物質(SPM)濃度、風向、風速の4項目について、沿線6カ所で365日間連続測定を実施し、2カ所で「四季調査」を行います。
四季調査.....春季・夏季・秋季・冬季にそれぞれ7日間の測定。

のり面の樹林化を具体的に検討します。

道路工事で造成するのり面は、周辺の樹木から種子を採って育てた苗木を植栽し、樹林の復元を図ることにしています。
横浜環状南線でも、地域に適した樹林をなるべく早く造るための具体的な検討を行っています。



● 圏央道-横浜環状南線(よこかんみなみ)
横浜環状南線は、横浜横須賀道路釜利谷ジャンクションから国道1号を結ぶ、延長約8.9kmの自動車専用道路です。横浜環状道路の南側区間であるとともに、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の一部を構成しており、約7割がトンネル掘削構造となっています。



大気測定の結果は、本紙や「よこかんみなみWebサイト」で皆様にお知らせします。また、自然環境保全の現地見学会『エコハイク』の参加者を募集中です。詳しくは裏面をご覧ください。

樹林化のための苗木の育成

横浜環状南線では、釜利谷JCT周辺をはじめ、沿線地域ですでにシイ、タブ、クヌギ、コナラなど自生種の種子を採取し、造成のり面の植栽に利用するため、滋賀県湖南市にある緑化技術センターで苗木の育成を始めています。



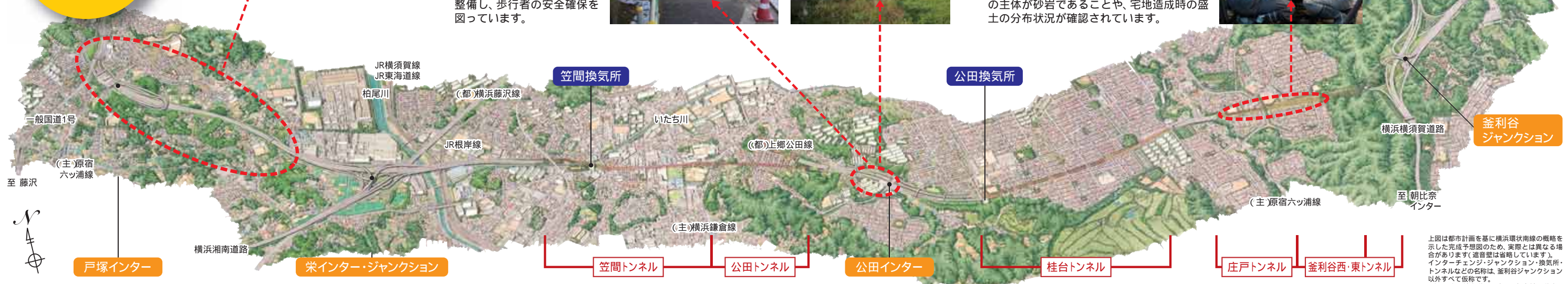
横浜環状南線は、2015年(平成27年度)の開通を目指して事業を進めています。

よこかんみなみ
現在の取組み

● 栄区田谷町～戸塚区汲沢町区間の設計・用地説明を行いました。
栄区田谷町(関谷川付近)～戸塚区汲沢町(吹上交差点付近)区間の設計がまとまったため、3月下旬に地元住民の皆様に対し、設計内容や用地補償について説明しました。

● 3月から、公田小下交差点および市道桂町24号線の改良工事を行っています。
この工事は、公田小下交差点付近の安全対策と、横浜環状南線の試験施工時の車両搬入を目的に、クランクの改良や車道の幅幅を行っています(6月完成予定)。
工事現場には仮設の歩道を整備し、歩行者の安全確保を図っています。

● 環境への影響を考えた、より良い工法を検討するため、庄戸地区の地質調査を実施しています。
この地質調査は、「建設による周辺への影響が不安」といった地域の皆様の声にお応えして、影響をできる限り小さくする施工方法を検討するために行っているものです。
これまでのボーリング調査(地表から直径10cm程度の孔をあなを掘って土の中の状態を調べる)により、庄戸地区の基盤岩の主体が砂岩であることや、宅地造成時の盛土の分布状況が確認されています。



上図は都市計画を基に横浜環状南線の概略を示した完成予想図のため、実際とは異なる場合があります(通貫管は省略しています)。トンネルなどの名称は、釜利谷ジャンクション以外すべて仮称です。(主)は主要地方道を、(都)は都市計画道路を示しています。

● 周辺地域への影響をより小さくできる「シールド工法」の検討を開始しています。
横浜環状南線のトンネル工事で、「シールド工法」を採用できるかどうかについて、専門的な知見を踏まえた検討を行っています。
最近、都市部でのトンネル施工技術が急速に進歩しており、特に「シールド工法」は周辺地域に与える影響をさらに小さくできる、安全で信頼性の高い施工技術として期待されています。昨年12月に第1回の検討会を開催し、今後検討を重ねていく予定です。
なお「よこかんみなみWebサイト」で検討会の資料などを公開していますので、詳しい内容をお知りになりたい方は下記までアクセスください。
<http://www.yokokan-minami.com>

シールド工法
トンネル断面に合わせて設計されたシールドマシンで地中を掘り進む工法で、切羽面(掘削する前面)で土圧・水圧をバランスさせることにより、地盤への影響を抑えながら施工することができます。
道路トンネルでは、東京湾アクアラインや首都高速中央環状線などで採用されています。

シールド工法の断面図▶

NATM(ナトム)工法
掘削と同時に吹付けコンクリートなどにより、地山の安定を図りながら施工する工法で、地山自身のアーチ効果を利用してトンネル本体にかかる負担を軽減します。坑内を掘削機械などによって掘り進み、後方へ掘削土を搬出しながら施工します。

NATM工法の断面図▶

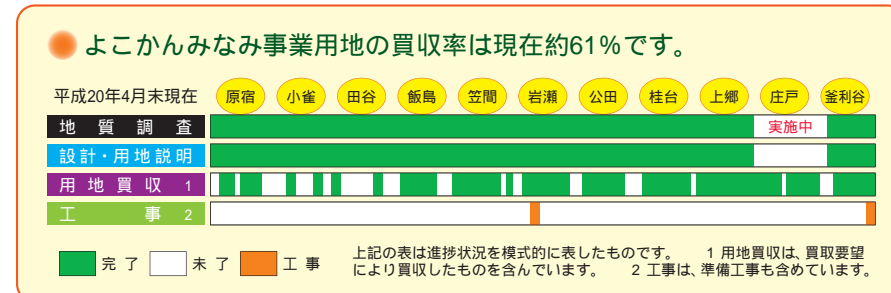
開削工法
地表面から所定の深さまで地面を掘り下げ、地下に空間を確保してトンネル構造物を築造した後、上部空間を埋め戻して施工する工法です。

開削工法の断面図▶

● 「シールド工法」採用の検討に必要な地質調査を実施しています。
横浜環状南線での「シールド工法」採用を検討するために、必要な基礎データを得るため、新たに上郷～笠間地区でボーリング調査を開始しました。
この調査で得たデータをもとに地層や地質の状態を詳細に把握し、十分に検討を行った上で、現地の状況に即したトンネル工法を決定します。



圏央道の神奈川区分を構成する「さがみ縦貫道路」も、着実に進捗しています。
圏央道(首都圏中央連絡自動車道)は、中央環状線(首都高速中央環状線)・外環道(東京外かく環状道路)とともに3環状の一翼を担い、首都圏の環境改善・道路交通の円滑化などに資する延長約300kmの自動車専用道路です。圏央道全体で各区間の開通目標を公表して、事業進捗管理を徹底しています。
このうち、神奈川県区間は新湘南バイパスより北側で全線にわたって工事に着手しており、西久保JCT(仮称)～相模原IC(仮称)間は2010年度(平成22年度)までの開通を目標としています。また、新湘南バイパスと横浜環状南線をつなぐ横浜湘南道路も、トンネル立坑工事を実施しています。
横浜環状南線では現在、住民の皆様と環境対策や構造などについて話し合いを行い、ご意見をお聞きしながら調査・設計・用地買収などを実施しており、平成27年度の開通を目指し事業を進めています。



郵便はがき
2418790

料金受取人私郵便
横浜旭局承認
1143

この郵便物は平成21年3月31日まで有効期間とします。(切手不要)

神奈川県横浜市
旭区南本宿町21番地の1
東日本高速道路株式会社
関東支社 横浜工事事務所
「工務課」 行

住所(〒)

氏名 ふりがな 電話番号 ()

職業 年齢 性別 歳 男・女

住所・氏名などは差し支えない範囲でご記入ください。このアンケートは、事業に関する認知度の把握や意見の収集、本誌記事の作成、エコバイクの申込み受付に利用することを目的とします。また、個人を特定しない方法でデータ集計し、公表する場合がありますので、予めご了承ください。